

経営比較分析表（令和4年度決算）

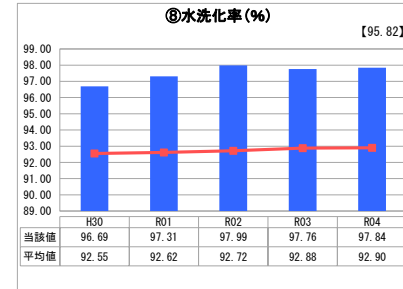
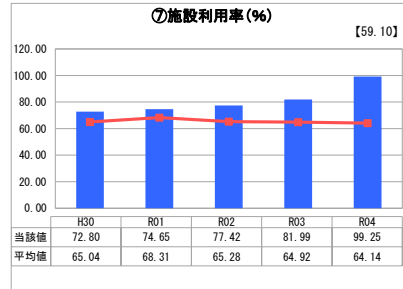
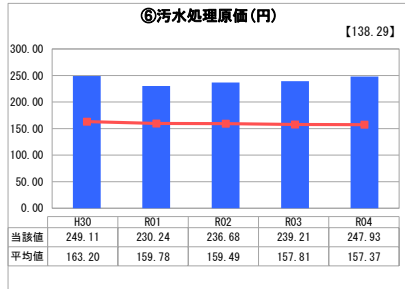
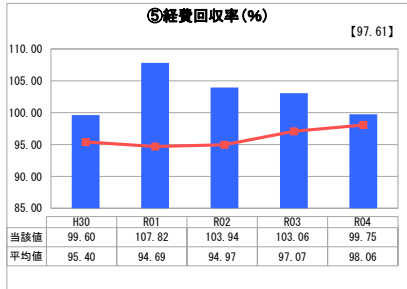
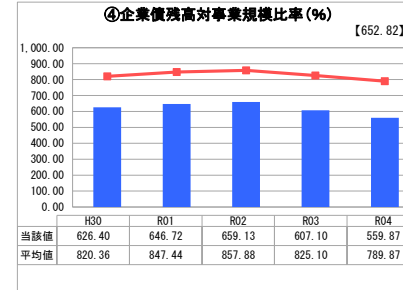
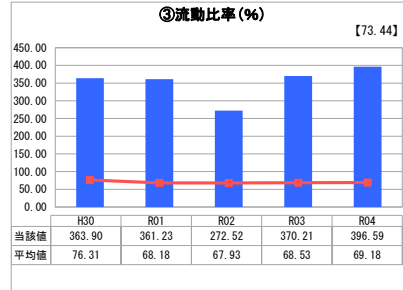
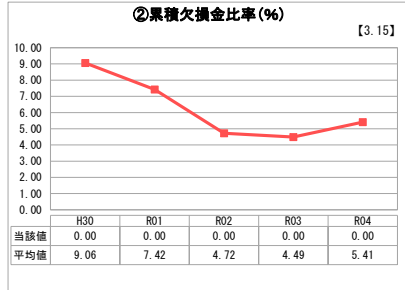
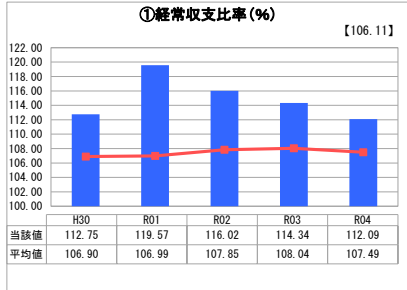
長野県 佐久市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	74.05	65.09	83.86	4,510

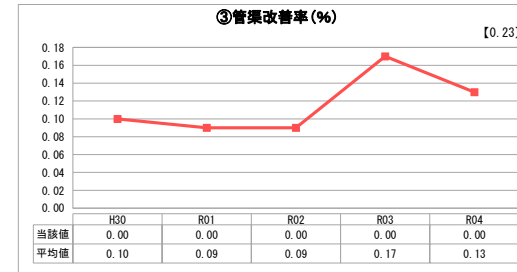
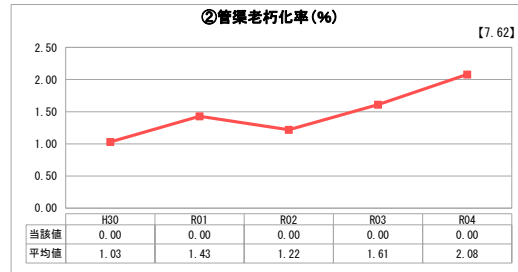
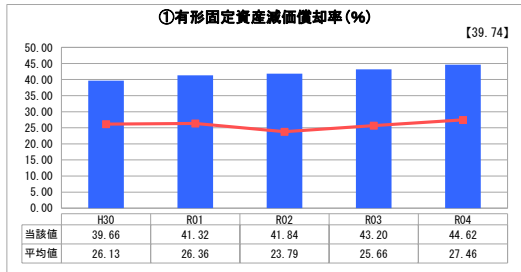
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
98,198	423.51	231.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
63,758	21.75	2,931.40

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%を超えており、累積欠損比率も0%であり、引継ぎ、安定した黒字経営である。しかし、前年度と比較し、経常収支比率及び経費回収率が低下し、経費回収率が100%を下回ったこと、汚水処理原価が上昇したことについては、ポンプを多用するため、電気料の高騰の影響による動力費の増加と施設の老朽化による修繕費の増加により悪化したものである。流動比率は、類似団体の平均値より高く、短期債務の支払い能力がある。企業債残高対事業規模比率についても類似団体の平均値よりも低く、ここ数年は年々減少してきているので、投資規模は適正であると考えられる。水洗化率は、高水準にあるが、収益の確保のために戸別訪問を実施し水洗化を促進する。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率は0%で耐用年数を超える管渠はないが、有形固定資産減価償却率は、類似団体の平均値より高く、耐用年数に近づきつつあり、老朽化が進んでいる。ストックマネジメント計画に基づき計画的に更新する必要がある。

全体総括

経営状況は、健全な状況を安定して維持しているが、当年度においては、主に電気料の高騰による影響により動力費が増加し、老朽化により修繕費も増加した。この事業区域は、人口が増加しており、直ちに下水道使用料収益が大幅に減少することは考えにくい。費用の増加による収支の悪化が懸念される。計画的な修繕と経費削減に努める必要がある。施設については、計画的な改築更新と他事業との統合を進め、効率的な運営を行い、今後の改築更新に備えた資金の確保に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。